



令和3年8月5日

関係者 各位

(財) 日本モーターサイクルスポーツ協会  
国内規律裁定委員会

全日本ロードレース選手権 第5戦 MFJ グランプリ スーパーバイクレース in SUZUKA  
ST600 クラス決勝レースにおけるジャンプスタート誤認について

さる、全日本ロードレース選手権 第5戦（決勝日7月18日）に開催された ST600 クラス決勝レース時における、ジャンプスタートの判定誤認について、本規律裁定委員会は本件を重く受け止め、MFJ 規律裁定規則 35-2-1 に基づき、規律裁定委員会の権限で本件に関し審議し裁定を下すこととした。

裁 定 結 果

当該大会競技運営団は既に大会審査委員会より罰金処分が与えられており、当規律裁定委員会は当該競技運営団に訓戒処分を与えるとともに主催者並びに MFJ に以下の業務改善命令を発する。

① 鈴鹿サーキット（主催者）

- ・ 競技運営団ともに誤認が再発しない為の措置を取ること。
- ・ 今後、誤認が発生した場合の対応方法

上記を書面にて 30 日以内に当規律裁定委員会に提出すること。

② MFJ

ロードレース委員会にて本件のような事例が発生した場合の対処（当該チームへの通達、競技運営の対処方法等）について検討し、規則または運営マニュアル等に明記すること。